【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公表番号】特表2002-503930(P2002-503930A)
【公表日】平成14年2月5日(2002.2.5)
【出願番号】特願2000-531960(P2000-531960)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　7/22　(2006.01)
Ｈ０４Ｑ　7/28　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　12/56　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　7/04　Ｊ
Ｈ０４Ｌ　12/56　２００Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月20日(2006.9.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　アップリンク及びダウンリンク送信が無線ブロックに分割され、いくつかの移動局が単一の送信リソースを共有しているパケット交換通信システム内で情報を送信する方法であって、
アップリンクステートフラグ（ＵＳＦ）の受信において連続的に送信できる任意数の無線ブロックを移動局に通知する工程と、
前記任意数の無線ブロックのアップリンク送信を開始するために、ダウンリンク送信でＵＳＦを前記移動局へ送信する工程と、
前記移動局によって、前記アップリンク送信で前記任意数の無線ブロックを連続的に送信する工程と
を備えることを特徴とする方法。
【請求項２】　更に、前記任意数が１より大きい場合の前記任意数の無線ブロックの前記連続的な送信中に、他の移動局が前記送信リソースのアップリンク上での送信を抑止されることを示す少なくとも１つの未使用ＵＳＦを送信する工程と
を備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】　前記通知する工程は、
前記移動局へ前記任意数の無線ブロックの値をブロードキャストする工程と
を備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項４】　前記通知する工程は、
移動局と前記システム間に送信リソースが割当られる場合に、前記任意数の無線ブロックの値を特定する工程と
を備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項５】　アップリンク及びダウンリンク送信が無線ブロックに分割され、いくつかの移動局が単一の送信リソースを共有している通信システム内でアップリンク送信をスケジューリングする方法であって、
移動局と基地局間の無線接続のセットアップ中に、ダウンリンク送信で指示を前記移動局へ送信する工程とを備え、
前記指示は、前記移動局が該移動局へ向けられるフラグの受信において前記送信リソー

ス上で連続的に送信できるいくつかの無線ブロックを示している
ことを特徴とする方法。
【請求項６】 前記通信システムは、無線パケット通信システムである
ことを特徴とする請求項５に記載の方法。
【請求項７】 前記通信システムは、時間分割多重アクセス（ＴＤＭＡ）システムである
ことを特徴とする請求項５に記載の方法。
【請求項８】 アップリンク及びダウンリンク送信が無線ブロックに分割され、いくつかの移動局が単一の送信リソースを共有しているパケット交換通信システム内で情報を送信するシステムであって、
アップリンクステートフラグ（ＵＳＦ）の受信において連続的に送信できる任意数の無線ブロックを移動局に通知する手段と、
前記任意数の無線ブロックのアップリンク送信を開始するために、ダウンリンク送信でＵＳＦを前記移動局へ送信する手段と、
前記移動局によって、前記アップリンク送信で前記任意数の無線ブロックを連続的に送信する手段と
を備えることを特徴とするシステム。
【請求項９】 更に、前記任意数が１より大きい場合の前記任意数の無線ブロックの前記連続的な送信中に、他の移動局が前記送信リソースのアップリンク上での送信を抑止されることを示す少なくとも１つの未使用ＵＳＦを送信する手段と
を備えることを特徴とする請求項８に記載のシステム。
【請求項１０】 前記通知する手段は、
前記移動局へ前記任意数の無線ブロックの値をブロードキャストする手段と
を備えることを特徴とする請求項８に記載のシステム。
【請求項１１】 前記通知する手段は、
移動局と前記システム間に送信リソースが割当られる場合に前記任意数のブロックの値を特定する手段と
を備えることを特徴とする請求項８に記載のシステム。
【請求項１２】 データパケットを送信する基地局であって、
複数のアンテナローブの少なくとも１つで前記データパケットを送信するアレーアンテナと、
前記複数のアンテナローブの第１セットで、アップリンクステートフラグ（ＵＳＦ）を含むパケットをブロードキャストし、特定移動局へ向けられる前記複数のアンテナローブの第２セットで、パケットを送信する手段と
を備えることを特徴とする基地局。
【請求項１３】 前記ＵＳＦは、移動局が前記アップリンク上で所定数の連続ブロックを送信できることを識別する
ことを特徴とする請求項１２に記載の基地局。
【請求項１４】 アップリンク及びダウンリンク送信が無線ブロックに分割され、いくつかの移動局が単一の送信リソースを共有している通信システム内でアップリンク送信をスケジューリングする方法であって、
移動局と基地局間の無線接続のセットアップ中に、ダウンリンク送信でアップリンクステートフラグ（ＵＳＦ）を前記移動局へ送信する工程とを備え、
前記ＵＳＦは、移動局が前記送信リソース上で連続的に送信できるいくつかの数の無線ブロックを示している
ことを特徴とする方法。
【請求項１５】 更に、前記いくつかの数が１より大きい場合の前記いくつかの数の無線ブロックの送信中に、前記送信リソースのアップリンク上での送信が不可能であることを示す少なくとも１つの未使用ＵＳＦを送信する工程と
を備えることを特徴とする請求項１４に記載の方法。

【請求項１６】　前記通信システムは、無線パケット通信システムである
ことを特徴とする請求項１４に記載の方法。
【請求項１７】　前記通信システムは、時間分割多重アクセス（ＴＤＭＡ）システムである
ことを特徴とする請求項１４に記載の方法。
【請求項１８】　前記基地局は、適応アンテナアレーを有する
ことを特徴とする請求項１４に記載の方法。
【請求項１９】　アップリンク及びダウンリンク送信が無線ブロックに分割される通信システム内でアップリンク送信をスケジューリングするシステムであって、
いくつかの移動局によって共有される単一の送信リソースと、
前記移動局と基地局間の無線接続のセットアップ中に、ダウンリンク送信でアップリンクステートフラグ（ＵＳＦ）を前記移動局へ送信する手段とを備え、
前記ＵＳＦは、移動局が前記送信リソース上で連続的に送信できるいくつかの数の無線ブロックを示している
ことを特徴とするシステム。
【請求項２０】　更に、前記いくつかの数が１より大きい場合の前記いくつかの数の無線ブロックの送信中に、他の移動局が前記送信リソースのアップリンク上での送信を抑止されることを示す少なくとも１つの未使用ＵＳＦを送信する手段と
を備えることを特徴とする請求項１９に記載のシステム。
【請求項２１】　前記通信システムは、無線パケット通信システムである
ことを特徴とする請求項１９に記載のシステム。
【請求項２２】　前記通信システムは、時間分割多重アクセス（ＴＤＭＡ）システムである
ことを特徴とする請求項１９に記載のシステム。
【請求項２３】　前記基地局は、適応アンテナアレーを有する
ことを特徴とする請求項１９に記載のシステム。
【請求項２４】　データパケットを送信する方法であって、
複数のアンテナローブの第１セットで、アップリンクステートフラグ（ＵＳＦ）を含むデータパケットをブロードキャストする工程と、
特定移動局へ向けられる前記複数のアンテナローブの第２セットで、データパケットを送信する工程と
を備えることを特徴とする方法。
【請求項２５】　前記ＵＳＦは、移動局が前記アップリンク上で所定数の連続ブロックを送信できることを識別する
ことを特徴とする請求項２４に記載の方法。